



教育支援センターだより

7月号 令和7年度 第4号
令和7年 7月17日発行(通算184号)

鴻巣市立教育支援センター

〒365-0004 鴻巣市関新田1281番地1
TEL 048-569-3181
FAX 048-569-1773

花かおり
緑あふれ
人輝くまち
こうのす



- 教育相談事業
- 適応指導教室事業
- 特別支援教育事業
- 研修事業



忘れ物で困っていませんか？

専門教育相談員 齋藤 恵子

保護者の方との面談で、かなりの割合で出てくるお悩みが「忘れ物の多さ」です。その都度、これまでに接してきたよく似た事例が次々に頭をよぎります。私としても大いに共感するところですが、その子その子によって色々な背景があるのだと思います。ここでは、忘れ物を改善するための一つの方法として、行動するための能力の「実行機能」に着目して考えてみます。

- 「実行機能」とは、何かを完了させる力です。
- 「実行機能」には、4つの要素があります。
- 1、目標を決め始めようとする。（さあ、やるぞ【意思】）
 - 2、目標を達成するために手段や順番を決める。（何からやろうか【計画】）
 - 3、臨機応変に切り替える。（やり方を変えてみよう【切り替え】）
 - 4、自分の行動を見張る。（これで大丈夫かな【行動の調整】）



しかし、この機能が順調に進んでいく過程で阻害要因が入ると、何かを完了することが難しくなります。「先にゲームしたいな」「今日のおやつが気になるな」「みんな楽しそうなことをやってるな。何だろう」……。ある子は甘い誘惑に心を奪われ、別の子はぱっと見で興味を持った対象に心移りし、また別の子は想定外の出来事に心が乱され、結果として「忘れ物、忘れごと」につながってしまうようです。

そこで、様々な阻害要因の影響を受けないように工夫することで、それぞれの要素を強化する必要があります。例えば、次のような対応策が考えられます。

- 1、意思の弱さには → 良い結果をイメージする。ハードルを下げる。
- 2、計画の弱さには → 優先順位をつける。取捨選択をする。
- 3、切り替えの弱さには → 刺激を減らすことで集中する。
- 4、行動の調整の弱さには → 何とかかなと思いつける。

私自身の忘れ物の多さは老化が主な原因だとは思いますが、「実行機能」の要素からいえば【計画】に弱点がありそうです。予定を立てる段階でやることが複数あると何から先にやったらよいか段取りが曖昧になり、結果「忘れ物、忘れごと」になっているのだと思います。こう分析できたことで多少なりとも改善に向かえばよいのですが、どのような対応策を取るにしても、まずは「わたし忘れっぽいんだよね」という十分な自覚がないと「実行機能」はうまく働きません。また、周囲の力を借りられれば、きっと一層の改善が期待できます。

相談室に来室した子どもたちはどんなことが忘れ物の多さにつながっているのか、当の子どもたちはそのことをどう感じているのか、保護者の方とともに子どもたちの視点に立って考え、支援の方向を探っていけたらと思います。

(参考資料：高山恵子『発達障害の子どもの実行機能を伸ばす』)

LET'Sは、8月に移転します

鴻巣市立教育支援センター（LET'S）は旧 小谷小学校へ移転し、8月から新たな施設で業務を行います。

新所在地 〒369-0133 鴻巣市小谷1890番地1
TEL 048-569-3181
FAX 048-569-1773

変更ありません

6月の相談状況 334件

相談内訳

	R7. 6月	R7. 5月
相談員等の学校等への訪問	198	141
電話	71	74
相談者来所	65	66

主な相談者別内訳

未就学児	71	47
小学生	65	16
小・中教職員	53	84
小学生保護者	52	40
年長児保護者	30	34

主な相談内容

性格・行動	120	76
不登校	92	91
特別支援	57	41
就学	45	24

シリーズ 0歳～15歳までの一貫した教育の推進 5歳児健診と相談

5歳前後は言語能力や集団への適応力が高まる時期に当たり、様々な経験を通して心と体を成長させていくことが期待されます。このタイミングで、運動機能や情緒面、社会性の発達を確認するのが5歳児健診です。現時点での実施は任意であり、令和5年度に行った自治体は14%にとどまるという状況を受けて、こども家庭庁から令和10年度までに全国での100%実施を目指す方針が示されています。

鴻巣市では10年以上前の平成23年から5歳児健診を実施しており、自己表現や集団行動が苦手な幼児に早い段階から寄り添うとともに、確かな育ちに向けて小学校就学前の支援につなげています。毎日の家庭や保育所・幼稚園などでの生活の中で、「落ち着きがない」「お友達とうまく遊べない」「集団行動が苦手」などの心配がある場合、ぜひご相談ください。

今年度の予定は、次のとおりです。

【対象者】令和2年4月2日～令和3年4月1日生まれの中児

【内容】問診・計測、小児科医による診察、臨床心理士による相談など

※健診後、継続相談が必要な方は、教育支援センターの専門の職員が「子育て相談」「心理発達相談」「就学相談」をお受けしています。

【定員】健診日ごとに4人（受付時間各2人）の先着順予約制

【申込み】子育て支援課母子保健担当 電話 048（543）1562

【持ち物】母子健康手帳、「5歳児健診・相談問診票」（申込み後に、問診票が送付されます。）

【今年度の健診日程】

健診日	会場	申し込み受付期間
令和7年 7月14日(月)	鴻巣市保健センター	終了
令和7年 8月18日(月)		令和7年 8月 4日(月)～ 8月 8日(金)
令和7年 9月 8日(月)		令和7年 8月25日(月)～ 8月29日(金)
令和7年10月 6日(月)		令和7年 9月22日(月)～ 9月26日(金)
令和7年11月17日(月)		令和7年11月 4日(火)～11月 7日(金)
令和7年12月15日(月)		令和7年12月 1日(月)～12月 5日(金)
令和8年 1月26日(月)		令和8年 1月13日(火)～ 1月16日(金)
令和8年 3月16日(月)	<受付> ①13:30 ②14:00	令和8年 3月 2日(月)～ 3月 6日(金)



7・8月の行事予定

月	日	曜	行 事
7	8	火	教育相談担当者・さわやか相談員連絡会議
	11	金	Let's教室 1学期終業式・保護者会
	16・23	水	小学校入学準備講座(2日間)
	24	木	新任教員研修施設体験研修 8:30 まなびの教室 14:00
	28	月	生徒指導・教育相談中級研修会①
8	31	木	生徒指導・教育相談中級研修会②
	1	金	生徒指導・教育相談中級研修会③ 特別支援教育夏季研修会 14:30
	20	水	若手教員(3年経験者)研修会 9:00

※予定は、都合により変更になる場合があります。

特別支援学校の「センター的機能」



特別支援学校は、地域にある小中学校の児童生徒・保護者・教員を支える役割を担っています。

《例》特性に合わせた関わり方の研修、福祉・医療・労働関係機関との連絡・調整、施設設備や情報の提供 等

県立行田特別支援学校のインクルーシブ研修会